

東日本大震災東松島市被災状況写真集

【矢本西】

大塩小野停車場線
(県道243号線)

発行・編集 宮城県東松島市教育委員会
生涯学習課 東松島市図書館

東日本大震災東松島市被災状況写真集について

東松島市内で撮影された写真を中心に収集し、以下のようなメタデータを付与しました。
地区・目標物・日付・テーマごとに整理し、1冊ずつの電子写真集として公開しています。

メタデータ付与内容

(1) 地区コード・目標物 (2) 記録区分コード (3) 寄贈者No (4) 写真No (5) 寄贈者・日付・内容

【例】

矢本地区・蔵しっくパーク_震災時_東松島太郎_写真No_東松島太郎_2011.3.11_北側玄関

0420_2_001_000001_東松島太郎_2011.3.11_北側玄関

(1)地区コード : 31地区

(2)記録区分コード : ①震災前 ②震災～1か月 ③1か月～2か月 ④2か月以上
⑤2012.5.1～ ⑥2013.4.1～ ⑦2014.4.1～

※写真の中でご本人・ご家族が掲載され希望されない場合はお手数でも下記までご連絡を頂ければ幸いです。
また、こちらをご覧になれる方は震災当時を思い出し体調を害される場合がありますのでご注意ください。

問合せ先:宮城県 東松島市図書館 TEL 0225-82-1120(火～金曜日 10:00～18:00)



※赤線が写真撮影箇所

東松島市一心

ICT地域の絆保存プロジェクト「東日本大震災を語り継ぐ」事業

東日本大震災東松島市被災状況写真集

【矢本西】

大塩小野停車場線
(県道243号線)

2011.3.11～2011.4.10

記録区分コード2

発行・編集 宮城県東松島市教育委員会
生涯学習課 東松島市図書館

0508_2_018_008122_東松島市(広報)_2011.3.12_
県道大塩小野停車場線(矢本横穴古墳群付近)



宮城県東松島市

0508_2_018_008127_東松島市(広報)_2011.3.12_
県道大塩小野停車場線(矢本横穴古墳群付近)鹿妻駅方面を撮影



宮城県東松島市

0508_2_019_008080_渥美巖_2011.3.12_
県道大塩小野停車場線(矢本横穴古墳群付近)



宮城県東松島市

0508_2_019_008081_渥美巖_2011.3.12_
県道大塩小野停車場線
(矢本横穴古墳群付近)



宮城県東松島市

0508_2_018_008128_東松島市(広報)_2011.3.12_県道大塩小野停車場線



宮城県東松島市

0508_2_019_008079_渥美巖_2011.3.12_
県道大塩小野停車場線



宮城県東松島市

0508_2_018_033174_東松島市_2011.3.13_
鹿妻_県道大塩小野停車場線



宮城県東松島市

2011/03/13

0508_2_018_033178_東松島市_2011.3.13_鹿妻_県道大塩小野停車場線



宮城県東松島市

2011/03/13



0508_2_018_012204_東松島市(広報)
2011.3.29_県道大塩小野停車場線
国道45号線数百メートル手前

宮城県東松島市



0508_2_018_012205_東松島市(広報)_2011.3.29_
鹿妻 県道大塩小野停車場線
国道45号線数百メートル手前(崖崩れ)

宮城県東松島市

協力機関の紹介

この震災の写真集を整理するにあたり、以下の団体の協力を頂くことで公開することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

公益社団法人 日本図書館協会
東日本大震災 震災対策委員会

学校法人 白百合学園
白百合女子大学
仙台白百合女子大学

東松島市図書館

おわりに

2011年3月11日東日本大震災は多くの尊い人命を奪い、また、住民の生活やコミュニティの絆、伝統・文化・産業など、地域に基大な被害を及ぼしました。「復興への提言」(東日本大震災復興基本法に基づき、東日本大震災復興構想会議を設置)において、この大震災の記録を永遠に残し、広く学術関係者により科学的に分析し、その教訓を次世代に伝承し国内外に発信すると提言しています。

東松島市では4つの復興まちづくりの基本方針を定め復興を目指しております。

【1】防災・減災による災害に強いまちづくり ～防災自立都市の形成～

【2】支え合って安心して暮らせるまちづくり

【3】生業の再生と多様な仕事を創るまちづくり

【4】持続可能な地域経済・社会を創るまちづくり

【1】においては、防災・減災体制の強化に必要なこととして、津波体験の検証・共有化や、防災教育を徹底させることを挙げています。このことから、震災や津波の体験を風化させず、悲劇を繰り返さないためには、その「恐ろしさ」「威力」等について記録し、誰でも見ることができるよう、公開していく必要があります。そして、【3】においては、被災した産業、観光等の復興の促進を現在目指しています。このような中、被災地を観光で支援する人、修学旅行等で防災・減災学習として被災地を訪れる人が増えています。しかし、復旧が進み、土地は更地となり、震災前の人々の営み、震災の痕跡がなくなり、記憶の風化も否定できません。同時に、現状の被災地と震災当時の写真や映像等で定期的に実感したいとの希望もあります。

このことを踏まえ、東松島市では、図書館が平成24年度においては、公益財団法人図書館振興財団より助成を受けて以下の内容を構築し、平成25年5月より一部公開をはじめ、現在に至ります。

- ①震災の新聞記事スクラップ
- ②住民等が災害時に記録した写真
- ③被災住民の被災体験談や流された地域の文化や伝統を動画や音声による収録
- ④各種活動記録(避難所・仮設住宅等)やチラシ・回覧資料・学校便り等の収集

皆様からの物心両面に渡るあたたかいご支援を忘れないために、御恩を後世に残せるよう、発信ができることも念頭に内容の充実に努めています。引き続き皆様のあたたかいご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

東松島市図書館